

うんなん

1

新春号

2011 vol.20

平成23年1月15日発行

広報うんなんは、雲南広域連合・公立雲南総合病院・雲南消防本部が共同で発行しています。

CONTENTS

連合長・管理者 年頭のあいさつ2

雲南広域連合P3~7

議長新春のご挨拶・議会報告3~4

「島根ふるさとフェア2011」について5

雲南地域「宝探しの達人」結果報告5

介護保険情報コーナー6~7

公立雲南総合病院P8~13

病院長新年のあいさつ8

皮膚科の診療体制について9

「地域総合診療科」を開設しました9

末光浩也副院長 へき地医療貢献者全国表彰受賞10

公立雲南総合病院組合議会議員の構成について10

平成21年度 決算概要11

お知らせ12

外来診療担当医一覧表13

雲南消防本部P14~19

消防長年頭のあいさつ14

議会報告14

平成21年度歳入歳出決算の概要15

雲南消防組合議会構成表15

平成22年中の火災・救急・救助統計16

こどもたちからの火災予防の呼びかけ17

木次町三新塔地区防災訓練開催18

防火クラブ紹介18

生活には欠かせない危険物19

早く取り付けて!!住宅用火災警報器19

雲南イベント情報P20~21

雲南市大東町海潮地区山王寺

よく晴れた朝、しんと静まりかえった静寂の中、朝日が山あいの里を美しく照らし出します。日の出とともに明るさが増していくこの瞬間、一日の始まりを祝福してくれるかのようです。

オノ峠から眺める景色

<写真提供:雲南太郎氏>

年頭のあいさつ



雲南広域連合長
公立雲南総合病院組合管理者
雲南消防組合管理者

速水 雄一

新年あけましておめでとございます。皆様には希望に満ちた新年をお迎えることお慶び申し上げます。雲南広域連合は、本年四月に雲南消防組合、雲南環境衛生組合と再編統合を行い、ひとつになります。今後も、住民サービスの向上に向けて努力して参りますので、よろしくお願い致します。

まず、雲南広域連合における広域的な地域振興事業でございます。本年は、雲南広域連合の運営のマスタープランであります「雲南広域連合広域計画」を策定することとしております。この計画の中で、広域行政のあり方についての基本方針を次の三つとし、二つ目はこれまでの一市二町の枠組みを維持すること、二つ目には従来からの広域連合の基本理念である「ゆうきの里 雲南」を継承すること、三つ目にはふるさと市町村圏振興事業基金の運用益を活用し、ソフト事業を実施することとしました。今後も構成市町と連携を図りながら、計画の実行に取り組んで参ります。

また、平成二十四年の古事記編纂千三百年、平成二十五年の出雲大社

平成の大遷宮を機に、島根県では、神話のふるさと「島根」推進事業が始まりました。古事記の神話部分に書かれているヤマタノオロチ伝説は、雲南地域が舞台となつています。雲南地域に訪れた方々に好印象を持っていたら、リピーターになつていただけるようプロジェクトを推進して参ります。

次に、介護保険事業でございます。今年は、第五期介護保険事業計画の策定を控えており、第五期計画では、急速な高齢化の進展による独居高齢者、認知症高齢者の増加や高齢者像と地域特性の多様化等、高齢者の保健医療・福祉をとりまく環境の変化等に適切に対応し、高齢者が要介護状態になつても、可能な限り住み慣れた地域で継続して生活できるよう、介護・予防・医療・生活支援サービス・住まいの五つを一体的に提供していく「地域包括ケア」の考え方に基づいて計画策定をする必要があります。

このため本年一月に、六十五歳以上の第一号被保険者の方を対象に、抽出により日常生活圏域ごとに二ス調査を行い、基礎資料とすることとしていきますので、協力をお願いいたします。

公立雲南総合病院は四月一日から、「雲南市立病院」と衣替えします。新たに事業管理者を選任し、より機動性の高い組織運営が期待されるところであります。また、昨年四月から松井新院長のもと組織体制強化を図るとともに、院内への住民の皆さんの手作り作品の展示やボランティアさんによる車椅子介

助開始など、より親しまれる病院の雰囲気作りに努め、入院・外来患者さんの減少対策に少なからず成果を上げつつあるのではないかと思います。

昨年度設置した「地域医療人育成センター」では子供たちに医療現場の体験をしてもらったため、今年度は中・高校生約三十名と研修医十名が雲南病院で貴重な体験を積んでいます。

医師・看護師不足に対しては地域推薦枠や奨学金制度の充実により、四月からは新卒の看護師数名の就職も内定しています。また、地域連携では雲南医師会の事務所を十一月より院内に開設し、オープンベッド導入などにより強い連携へ取り組んでいます。更に、総合診療を目指す医師の研修育成の場を提供することを目的に、島根大学と連携し、昨年十二月から「地域総合診療科」を開設しました。

一方、職員教育の「環・意識改革」につなげるため、全職員によるQC活動（改善活動）の取組みを始めています。また、今年度の発表大会を計画しており、今後、病院の「考える文化」の醸成につなげていくことを期待しているところであります。

新年度は電子カルテの導入を控えており、将来的には病棟の改築という大きな課題がある中、「患者さんにとってふさわしい医療の提供」を基本に、高齢社会を見据えながら高度専門的医療機関との連携を図り、高齢者中心の慢性期医療と福祉の連携を中心に、住民の皆さんと一体となつてこの地域にふさ

わしい病院のあり方を検討してまいりたいと考えています。

雲南消防組合につきましては、全国的に集中豪雨災害や竜巻が発生した昨年、幸いにも管内で大きな災害は発生しませんでした。災害は何時やってくるかわかりませんが、消防関係機関が連携を密にして、更なる防災体制の強化を図りたいと存じます。

昨年の火災件数は二昨年に比べ減少していますが、依然として建物火災の発生比率が高いのが現状です。この建物火災から人命を守るため、皆様には、今年五月末までの設置期限となつていきます住宅用火災警報器の早期な取り付けをお願いするものです。

また、救急搬送も年間二千件を超え、その約三分の一が管外病院への搬送となっております。平成二十三年度、島根県が導入予定であります「ドクターヘリ」の有効利用について、関係機関と更に協議を重ねて参ります。

昨年七月に、総務省消防庁の全面的な協力を得て「119番位置情報通知システム」を運用開始したところであります。今後、更に平成二十八年五月末までに整備しなければならぬ「消防救急無線デジタル化」につきましても、関係者の皆様と鋭意努力し準備を進めたいと考えています。

今後とも、雲南地域の広域行政を担う雲南広域連合、雲南総合病院組合、雲南消防組合に対し、二層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。まして、年頭のあいさつとします。

新春のご挨拶



雲南広域連合議会
議長 藤原政文

新年あけましておめでとございます。皆様には希望に満ちた新年をお迎えることと雲南広域連合議会を代表してお慶び申し上げます。

昨年十二月に雲南広域連合議会議長に就任しました藤原政文です。雲南地域の振興と発展に努力してまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

さて、昨年は「龍馬伝」や「ゲゲゲの女房」の主人公が幾多の困難に対して、強い信念をもつて自らが信じる道を切り開く姿が、現代の不透明な時代を生きた多くの人々の共感を呼び好評を博しました。

また、国内においては、所在不明の高齢者問題の発覚、大阪地検特捜部主任検事証拠改ざん事件など、「正義」と「良心」を問われた二年でもありました。

現在、国では地域のごとは地域に住む住民が責任を持つて決めることのできる活気に満ちた地域社会をつくることを目指して「地域主権改革」が進められています。雲南広域連合議会におきましても、地方分権、地域主権により「自己決定、自己責任」が求められ、議会の役割がより重要になってきています。

本年は、雲南広域連合と雲南消防組合、雲南環境衛生組合がひとつになり、新たな雲南広域連合がスタートする年となります。再編統合の基本方針であります総経費の抑制を図りながら、安定的な業務運営の確保と住民サービスの向上が図られるよう議会としても働きかけて参りたいと考えております。

本年も、皆様のご期待に応えられるよう一生懸命努力する所存でありますので、二層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

雲南地域の発展と皆様のご多幸・ご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

議会報告

平成22年第2回 雲南広域連合議会臨時会

平成22年11月26日、平成22年第2回雲南広域連合議会臨時会を開催しました。今回の議会には次の議案を提出し、原案通り可決されました。

議決された事項

○職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告及び島根県人事委員会報告に基づき、職員の給与と条例を改正しました。



「島根ふるさとフェア2011」について

平成23年1月22日(土)、23日(日)に広島市の広島県立総合体育館周辺で行われる「島根ふるさとフェア2011」に今年も参加します。今回で14回目となるこのフェアのテーマは、「心に届くおもてなし」です。

雲南地域からは、屋内「しまねまるごと特産市」へ19業者、屋外「しまねあつあつ屋台村」へ12業者が参加します。主な販売品目は、屋内「農林産物、乳製品、漬物、そば、生どら、イノシシ肉まん」など、屋外「そば、焼そば、奥出雲和牛焼肉、杵つきもち」などです。

雲南広域連合ブースでは、雲南地域の魅力や観光資源の情報を発信してまいります。また、雲南地域の特産品などが当たる、ガラポン抽選会を実施します。



島根ふるさとフェア2010屋内会場の様子



島根ふるさとフェア2010屋外会場の様子

雲南地域 宝探しの達人 結果報告

平成22年10月16日～11月30日まで実施しました、「雲南地域 宝探しの達人」の応募結果を報告します。

- 達人クラス (20箇所全ての答えを集めて応募された方) … 599名
- 一般クラス (10箇所以上の //) … 326名
- 初級クラス (5箇所以上の //) … 158名

この中から抽選で当選された方には12月に賞品を発送させていただきました。多数のご参加及びご応募ありがとうございました。

平成22年 雲南広域連合議会12月定例会

平成22年12月24日、平成22年雲南広域連合議会12月定例会を開催しました。今回の議会には次の議案を提出し、原案通り可決されました。

議決された事項

- 平成22年度雲南広域連合介護保険特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ908千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6,891,708千円としました。



雲南広域連合議会構成表

役 職 名		氏 名	市 町 名
議 長		藤 原 政 文	雲 南 市
副 議 長		那 須 穂 士 輝	飯 南 町
総務常任 委員会 (6名)	委 員 長	加 藤 欽 也	雲 南 市
	副委員長	瀧 尻 行 雄	飯 南 町
	委 員	周 藤 正 志	雲 南 市
	委 員	藤 原 政 文	雲 南 市
	委 員	千 原 祥 道	奥 出 雲 町
	委 員	福 本 修	奥 出 雲 町
厚生常任 委員会 (6名)	委 員 長	吾 郷 益 己	奥 出 雲 町
	副委員長	安 井 誉	雲 南 市
	委 員	深 田 徳 夫	雲 南 市
	委 員	板 持 達 夫	雲 南 市
	委 員	難 波 俊 司	飯 南 町
	委 員	那 須 穂 士 輝	飯 南 町
議会運営 委員会 (6名)	委 員 長	難 波 俊 司	飯 南 町
	副委員長	吾 郷 益 己	奥 出 雲 町
	委 員	加 藤 欽 也	雲 南 市
	委 員	安 井 誉	雲 南 市
	委 員	千 原 祥 道	奥 出 雲 町
監査委員(議会選出)		福 本 修	奥 出 雲 町

介護保険料の社会保険料控除

1月～12月に納めていただいた介護保険料は、住民税や所得税の社会保険料控除の対象となります。

年金天引きによる納付の場合

被保険者本人に限り社会保険料控除の対象となります。納付した保険料額は年金保険者から送られる「源泉徴収票」でご確認ください。

納付書や口座振替による納付の場合

被保険者ご本人、あるいは被保険者に代わって介護保険料を納付した同一世帯の方は社会保険料控除の対象となります。納付書納付の場合は「納入通知書兼領収書」、口座振替の場合は「通帳の記帳」で金額をご確認ください。

※申告の際に納付証明書を添付する必要はありません。申告書に納付した保険料額を記入していただくだけで結構です。
金額が確認できない場合は、各市町の介護保険担当窓口か雲南広域連合へお問い合わせください。



Q 1 寝たきりや認知症で、本人または家族が申請することが難しいのですが、どうすればよいのですか？

A 1 基本的には、本人が申請することになっています。本人が寝たきりなどで申請できない場合は、その家族が代わって申請してもかまいません。また、本人や家族が申請できない場合は、居宅介護支援事業所や介護保険施設などが代行して申請することもできます。

Q 2 要介護2と判定され、有効期間が6か月と通知がありました。6か月間は状態が悪くなくてもそのままよいのですか？

A 2 認定は、有効期間中でも、被保険者の状態が良くなった、悪くなったりした場合、要介護認定変更申請をしていただくようになりますので、市町介護保険担当窓口または雲南広域連合へご相談ください。また、変更がない場合は、有効期間が近づくと雲南広域連合より更新申請のご案内をしますので、必要な場合は、市町窓口で手続きをしてください。



保険料の急激な上昇が抑制されています

介護従事者の処遇改善のための介護報酬改定(3%プラス)に伴い、65歳以上の方の介護保険料は上昇していますが、その上昇分を国が負担することで保険料の急激な上昇が抑制されています。本来4,258円の保険料基準額が4,200円に軽減されています。



特別養護老人ホームの入所順の決定には基準があります

特別養護老人ホームの入所順については、申し込み順で入所者を決定するのではなく、緊急性の高い高齢者かどうかを一定の評価基準をもって判断し、入所の順番を決定することになります。

評価の基準は、本人の状況(要介護度)、介護の必要性、家族の状況、入所・入院中の状況の4項目からなり、それぞれの項目の合計点数(50点満点)と、点数で評価できない部分についてはケアマネジャーの意見を反映し、最終的にはこれらを判定の参考としたうえで、各施設が入所に関する検討委員会を設けて決定する仕組みとなっています。

特別養護老人ホーム入所評価の基準

項目	持点	区分	点数
本人の状況	13点	要介護5	10点
		要介護4	8点
		要介護3	6点
		要介護2	4点
		要介護1	2点
		(加算)認知症に伴う問題行動の有無(*)	3点
介護の必要性	10点	現在居宅において、介護保険の居宅サービスの利用が要介護1～5の区分支給限度額(単位数)に占める割合。(直近3ヶ月のサービス利用額(単位数)の合計を、3ヶ月分の区分支給限度額(単位数)で除した数値(割合))	
		8割以上10割	10点
		6割以上8割未満	8点
		4割以上6割未満	6点
		2割以上4割未満	4点
		2割未満	2点
家族の状況	20点	利用なし	0点
		介護する家族がいない	20点
		介護者が高齢、病気、就労	15点
入所・入院中の状況	7点	家族はいるが、介護が困難な状況	10点
		居宅での生活が困難なため、他の介護保険施設等に入所・入院している場合	7点

*問題行動とは、自傷行為・夜間せん妄・不穏興奮・大声・奇声・徘徊・不潔行為・摂食異常(異食)・弄火などをいいます。

(備考)

- 50点を満点とします。
- 「島根県老人福祉施設協議会入所基準に関する考え方」のとおり入所検討委員会で決定します。
- 2にかかわらず、災害等の事情により施設への入所を施設長が特に認めた場合は、この限りではありません。
- この基準については、島根県老人福祉施設協議会と島根県等関係機関との協議で決定され、雲南圏域では平成16年6月1日より運用しています。

皮膚科の診療体制について

平成23年1月より皮膚科は常勤医師体制となりました

新任医師紹介



皮膚科医長 **和久本 圭子**

雲南の皆様のお役に立てる様、微力ではありますが、頑張りたいと思います。
皆様に喜んでもらえる診療が出来たらと思います。



月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
診察日	診察日	診察日	診察日	×

☆ 外来診察は午前のみであります。（一部予約制）

どこの科にかかればいいのか分からない？そんなときに！ 「地域総合診療科」を開設しました

地域総合診療科について

医師不足、専門医不足のため、地域の皆様方には日々ご迷惑をおかけいたしておりますが、当院では患者様ひとりひとりの必要度に応じた基本的な医療を、院内外の各専門診療科と連携をしながら提供することを目指しており、このたびその様な診療科を問わない基本的治療（診療）を行う部門として地域総合診療科を設けました。

地域総合診療科では、専門診療科宛の紹介状を持たない成人の初診患者様で、どの科を受診していいかわからない方を担当し、必要に応じて院内専門各科や時には他施設に相談・紹介致します。軽症の場合は、患者様や専門各科と相談して、かかりつけ医に紹介させていただいたり、引き続き地域総合診療科外来で診療を継続させて頂くこともあります。また、現在医師を志す若者の間では、以前よりある専門医志向の一方で、広い分野を総合的に診ることのできる総合医、家庭医という医師象を目指す傾向がでてきております。

地域総合診療科では、そのような診療を担うことのできる医療者を養成して、地域医療に貢献できる人材を育成へすることも目指しています。

具体的には、以下のような患者さんを診療します。

- ・診断がついていない ・急性で軽症（かぜ症候群、軽度の腹痛など）
- ・いろいろな病気が複雑に絡み合っているようだ
- ・健診で異常が出たがどの科に行けばよいかわからない
- ・他院、他科で診断がつかない

どうぞお気軽にご相談ください。

病院長新年のあいさつ



公立雲南総合病院
院長 **松井 譲**

新年明けましておめでとうございます。
皆様方にはご健勝で新年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

まず本年は四月一日より「雲南市立病院」として新たなスタートとなります。顧みますに昭和二十三年三月一日に開院いたし、昭和三十六年四月一日より大東町外九ヶ町村の自治体の総合病院となりました半世紀、この間のご支援に厚くお礼申し上げますと共に、単独のスタートとなりますが、一層の病診連携、病病連携が必要とされるところであり雲南医療圏の中核病院として医療充実に努めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、就任時に大きな方針として現在のケアミックスの病院形態を維持することを基本方針としておりましたが、この維持充実のためにはマンパワーの維持確保が必要であり、二十一年度設置した「地域医療人育成センター」では島大医学生の実習受入れを二十二年度には二十四名、研修期間は異なりますが初期研修に二十二年度中には十名の研修医に来ていただいております。後期研修、就職につながればと考えます。また昨年十二月には「地域総合診療科」を立ち上げ、当面は外科系の医師が行う総合診療科で救急診療など対応いたしますが、総合診療を学ぶなら雲南病院と言われ選んでいただく体制を今から構築していこうと考えています。

地域医療は依然として厳しい状況であり、昨年四月より院長を拝命して九ヶ月、東奔西走の日々でありました。このような中、職員スタッフが力強く支えてくれました。ことに大変感謝しております。職員一同住民の皆様のご期待に応えるよう、更なる努力をして参ります。

皆様方の更なるご支援をお願い申し上げますとともに、ご多幸を祈念し新年のご挨拶と致します。

平成
21
年度

公立雲南総合病院組合決算の概要

業 務 量

1 病院事業

(1) 病床数

■ 286床 [一般202床・精神50床(一時的閉鎖)・回復期リハビリ30床・感染症4床]

(2) 患者数

■ 入院: 64,414人 (前年度67,955人) 1日平均患者数: 176.5人 (前年度186.2人)
■ 外来: 105,925人 (前年度114,708人) 1日平均患者数: 437.7人 (前年度470.1人)

2 介護事業

(1) 介護支援事業

■ ①調査受託件数 1件 (前年度73件)
■ ②サービス計画件数 1件 (前年度743件)

(3) 訪問介護事業

■ 延利用者数 2,316人 (前年度2,738人)

(2) 訪問看護事業

■ 延利用者数 5,755人 (前年度5,608人)

(4) 療養病床事業

■ 入院患者数 15,033人 (前年度15,522人)
[療養(介護型)48床] (療養病床1日平均患者数41.2人) (前年度42.5人)

●収益的収支の状況

(消費税抜き、単位: 千円)

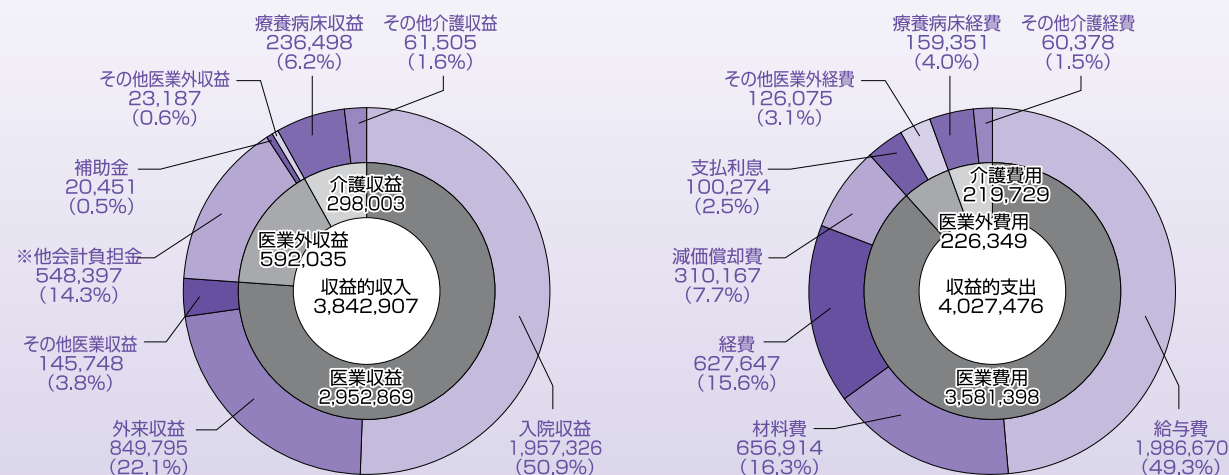
区 分	決 算 額
総収益	3,842,907
医業収益	2,952,869
医業外収益	592,035
介護事業収益	298,003
特別利益	0
総費用	4,027,476
医業費用	3,581,398
医業外費用	226,349
介護事業費用	219,729
特別損失	0
収支差引	△ 184,569

●資本的収支の状況

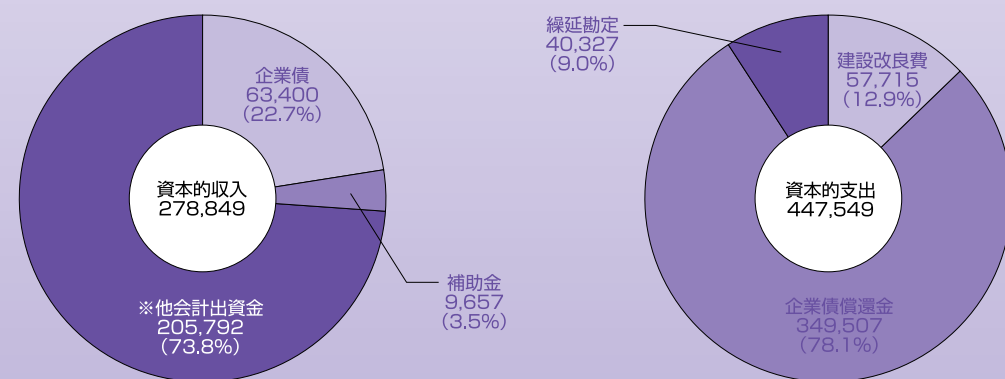
(消費税込、単位: 千円)

区 分	決 算 額
収 入	278,849
支 出	447,549

収益的収支(消費税抜き、単位: 千円)



資本的収支(消費税込、単位: 千円)



資本的収入が支出に不足する額168,700千円は内部留保資金で補てんします。
※一般会計からの繰入れは総額で754,189千円(他会計負担金:548,397千円、他会計出資金:205,792千円)となっています。

末光 浩也 副院長 へき地医療貢献者全国表彰受賞

末光副院長は、昭和56年9月に外科医として就任以来、通算23年間にわたり地域医療充実のため、積極的な検診活動及び地域医療連携の強化に努めて参りました。その功績により、全国自治体病院協議会から栄えある賞を授与いただきました。今後の末光副院長のさらなる活躍に期待したいと思います。



公立雲南総合病院組合議会議員の構成について

平成 22 年 12 月 24 日、公立雲南総合病院組合 12 月臨時議会において議員構成替が行われ、次のとおりになりました。

議 長	藤 原 政 文	雲 南 市
副 議 長	那 須 穂 士 輝	飯 南 町
議 員	千 原 祥 道	奥 出 雲 町
議員 (監査委員)	福 本 修	奥 出 雲 町
議 員	大 垣 照 子	奥 出 雲 町
議 員	板 持 達 夫	雲 南 市
議 員	石 川 幸 男	雲 南 市
議 員	光 谷 由 紀 子	雲 南 市
議 員	西 村 雄 一 郎	雲 南 市
議 員	高 橋 雅 彦	雲 南 市
議 員	難 波 俊 司	飯 南 町
議 員	瀧 尻 行 雄	飯 南 町
監 査 委 員	佐 藤 竹 昭	雲 南 市

外来診療担当医一覧表

平成23年1月1日現在

受付時間	午 前	8時30分～11時00分（初診の方）
	午 後	7時15分～11時00分（再診の方）
休 診 日	午 後	1時00分～ 4時00分（診療科については下記の表をご確認ください。）
	土、日曜日・祝日・年末年始（12月30日～1月4日） ※尚、急患の方はお問い合わせください。	
面会時間	午前11時00分～午後8時00分 ※上記以外の面会は診療に差支えますのでご遠慮下さい。	

【所在地】
〒699-1221
島根県雲南市大東町飯田96-1
Tel 0854-43-2390(代)
Fax 0854-43-2398
(ホームページアドレス) <http://unnan-hp.jp/>

診 療 科		月		火		水		木		金	
		午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後
内 科	初 診	曾田 一也	-	田中 敬康 服部 修三	-	山本 俊	-	曾田・田中 (隔週)	-	服部 修三	-
	一 診 (再診：予約)	服部 修三	-	曾田 一也	-	服部 修三	-	服部 修三	-	曾田 一也	-
	二 診 (再診：予約)	-	-	山本 俊	-	田中 敬康	-	-	-	山本 俊	-
	三 診 (糖尿病・予約)	糖尿病外来 (隔週)	-	血液内科外来 (隔週)	-	-	-	-	-	糖尿病外来	-
	内視鏡検査	山本 俊	-	大学医師	-	曾田 一也	-	山本 俊	-	大学医師	-
循環器外来	予 約	金築 一摩	-	-	-	今井 健介 (10時から診察)	-	-	-	織田 禎二	-
神経内科外来	予 約	-	-	-	-	-	-	齋藤 潤	-	-	-
小 児 科	一 診	大家 隆晴	-	大家 隆晴 (大家 隆晴)	-	大家 隆晴	-	大家 隆晴 (大家 隆晴)	-	大家 隆晴	大家 隆晴
	二 診	高橋 知男	高橋 知男	高橋 知男 (高橋 知男)	-	高橋 知男	-	高橋 知男 (高橋 知男)	-	高橋 知男	-
外 科	一 診	末光 浩也 (一部予約)	予約：乳腺 甲状腺外来	大谷 順 (一部予約)	-	末光 浩也 (一部予約)	-	大谷 順 (一部予約)	予約： stom 外来 (第2木曜日)	須藤 一郎 (一部予約)	予約：乳腺 甲状腺外来 (隔週)
	二 診	-	末光 浩也	-	-	須藤 一郎 (一部予約)	-	-	末光 浩也 (一部予約)	末光 浩也	末光 浩也
地域総合診療科		三木 優美		大谷 順		大谷 順		三木 優美	大谷 順	三木 優美	
整形外科 (再診：予約)	一 診	松井 譲	-	三木 亮明 (脊椎・人工関節専門外来)	-	松井 譲	-	三木 亮明 (脊椎・人工関節専門外来)	-	松井 譲	-
	二 診	西山 彰博	-	三木 孝人	-	三木 孝人	-	三木 孝人	-	西山 彰博	-
	三 診	檀浦 智幸	-	西山 彰博	-	檀浦 智幸	-	-	-	檀浦 智幸	-
脳神経外科		丸山 信之	-	丸山 信之	-	丸山 信之 (第2水曜日休診)	-	丸山 信之 (第3水曜日休診)	-	大学医師	-
産 婦 人 科		川上 伸兒	-	大学医師	-	川上 伸兒	-	川上 伸兒	-	川上 伸兒	-
耳鼻咽喉科	一部予約	佐野 啓介	予約：一般 14:30～ 佐野 啓介	佐野 啓介	-	佐野 啓介	-	佐野 啓介	-	佐野 啓介	予約：一般 14:30～ 佐野 啓介
眼 科	予 約	-	-	大学医師	大学医師	大学医師	大学医師	-	-	大学医師	大学医師
泌 尿 器 科		安本 博晃 (一部予約)	-	-	-	洲村 正裕 (一部予約)	-	-	-	椎名 浩昭 (一部予約)	-
麻 酔 科		大学医師	-	-	-	-	-	-	-	-	-
皮 膚 科	一部予約	和久本圭子	-	和久本圭子	-	和久本圭子	-	和久本圭子	-	-	-
放 射 線 科		大学医師「読影のみ」	-	-	-	-	-	-	大学医師 「読影のみ」	-	-
リハビリテーション科		大塚 昭雄「紹介患者のみ」	-	大塚 昭雄「紹介患者のみ」	-	大塚 昭雄「紹介患者のみ」	-	大塚 昭雄「紹介患者のみ」	-	大塚 昭雄「紹介患者のみ」	-
精 神 科		原 陽一	-	坪内めぐみ	-	代務医師	-	横山 勝利	-	-	-

- 小 児 科： 乳児健診、ワクチン外来は毎週水曜日午後（要予約）に行っております。
●乳児健診：午後2時～3時 ●ワクチン外来：午後3時～4時 ●一般外来は休診となります
- 外 科： 肛門外来、禁煙外来（要予約）は、午前診療にて行っております。
- 整 形 外 科： 再診の方は予約が必要です。電話での予約は、午後2時～5時にお願いいたします。
脊椎外科・人工関節専門外来を受診希望される場合は、外来窓口へお申し付けください。
- 泌 尿 器 科： 診療開始時間は9時15分からとなります。 尚、派遣医師に変更があることがあります。
- 脳神経外科： 金曜日（第1～4金曜日）は10時から大学医師による診察をいたします。
- 内 科： 神経内科外来の予約は、内科外来へ午後2時～5時にお願いいたします。
- 緩和ケア専門外来： 毎週火曜日午後2時～麻酔科外来にて行っております（要予約）。
- 地域総合診療科： 受診科が不明な患者様等の診察及び専門医への紹介をいたします。

診療・予約等に関するお問合せは **(0854)43-2390(代)** までご連絡ください。

医療出前講座「飛び出す!雲南病院講座」開催状況

10月から開催しております、医療出前講座の開催状況につきまして、ご報告させていただきます。10月は雲南市社会福祉協議会からのご依頼により、124名のデイサービス利用者の皆さまを対象に、6回に亘り薬剤師による「薬の飲み方、使い方」講座を行いました。11月にも同じく薬剤師による講座を、大東町佐世地区芹谷自治会有志の組織「ちょっこしお茶のんましょや」サークルの皆さまのお招きにより行い、12月には三刀屋子育て支援センターにおいて、在宅で育児をされている保護者の方を対象に、助産師による「心配だけどだいじょうぶ？こどもの救急対応」についての講座を開催しました。

参加された方々からは、普段あまり聞くことが出来ない薬の話しや、子供の救急時の対応などについて、身近に聞けてとても良かった、気軽に質問などができてとてもためになったなど、大変好評でした。

今後も積極的に地域に出向き、健康に役立つ講座を開催して行きたいと思っておりますので、お気軽にお申し込み下さい（問い合わせ先：総務課企画係 TEL:43-2441）。



「ちょっこしお茶のんましょや」サークルの皆さんに、薬を飲む時の注意点などをお話する本田薬剤師。

子育て中のお父さん、お母さん方にお話する板持助産師。

院内クリスマスコンサートを開催しました！

12月21日に、入院患者さんを対象に「院内クリスマスコンサート」を開催しました。このコンサートは、職員有志で組織している「音楽友の会」が主催し、今回で3回目の開催となります。開催に当っては、病院ボランティアの会の皆さんにご協力をたまわり、コンサート会場の設営や、会場までの入院患者さんの介助などのお手伝いをしてもらいました。

当日は、約120名の入院患者さんがコンサート会場においでになり、アコースティックギター、ホルン、フルートなどによる楽器アンサンブルをご覧いただきました。また、ゲストとして元島根県医師会長の古瀬 章先生とソプラニストの庄司春美さんの独唱で、クリスマスコンサートに華を添えていただきました。

最後には、入院患者さんも合唱に参加されるなど、一足早いクリスマスの夜を楽しんでいただきました。



平成21年度 雲南消防組合一般会計歳入歳出決算

平成21年度一般会計は、歳入総額が 1,139,449 千円、歳出総額が 1,134,300 千円となり、歳入から歳出を差し引いた額は平成22年度に繰り越し、構成市町に還付します。

歳入総額 1,139,449千円

款	金額(単位：千円)	構成比
1 分担金及び負担金	1,125,437	98.770
2 使用料及び手数料	2,009	0.177
3 財産収入	153	0.013
4 寄付金	0	0.000
5 繰越金	3,170	0.278
6 諸収入	8,680	0.762
歳入合計	1,139,449	100.0

雲南市 711,638 千円
奥出雲町 275,035 千円
飯南町 138,764 千円

平成20年度決算に伴う構成市町への返納額

〈歳入の主な内容〉主な収入は構成市町分担金が最も多く、歳入全体の9割を占めています。

歳出総額 1,134,300千円

款	金額(単位：千円)	構成比
1 議会費	297	0.026
2 総務費	3,387	0.299
3 消防費	948,811	83.647
4 公債費	181,805	16.028
5 予備費	0	0.000
歳出合計	1,134,300	100.0

人件費 857,220 千円
物件費等 86,344 千円
消防庁舎工事費 5,247 千円

公的資金補償金免除繰上償還 79,852 千円
元金 75,673 千円
利子 26,280 千円

〈歳出の主な内容〉公的資金補償金免除繰上償還 79,852 千円

公的資金補償金免除繰上償還について

1. 概要

国の施策として、行政改革・経営改革を行う地方公共団体を対象に、平成19年度から3年間の臨時特例措置として設けた支援制度です。

年利5%以上の公的資金(資金運用部資金・簡保資金・公営企業金融公庫資金)を繰上償還する場合に、通常の繰上償還では必要となる補償金を免除した上で、繰上償還又は借換を可能にするものです。

ただし、一定の財政状況による制限と「財政健全化計画」及び「公営企業経営健全化計画」を策定し、行財政改革に資すると認められた場合が対象となり、計画が実施されていないと認められる場合は、中止・延期等の場合があります。また、繰上償還が国の予定を超える場合は、減額または調整される場合もあります。

雲南消防組合は平成21年度に繰上償還を実施しました。

2. 繰上償還の内訳

普通会計 79,852千円 (補償金免除額15,598千円)
借入先 旧大蔵省資金運用部 利率5.5% 借入金額176,100千円
借入日 平成4年5月27日
事業名 奥出雲消防署庁舎建設事業

雲南消防組合議会構成表

役職名	氏名	市町名
議長	藤原 政文	雲南市
副議長	福本 修	奥出雲町
議員	周藤 正志	雲南市
	西村 雄一郎	雲南市
	周藤 強	雲南市
	石川 幸男	雲南市
	深田 徳夫	雲南市
	千原 祥道	奥出雲町
	塔村 俊介	奥出雲町
	那須 穂士輝	飯南町
	難波 俊司	飯南町
監査委員 (議会選出)	瀧 行雄	飯南町
	那須 穂士輝	飯南町
監査委員 (識見を有するもの)	細 貝 正 幸	雲南市

新春のごあいさつ



雲南消防本部
消防長 佐藤 均

新年あけましておめでとうござ
います。
平成二十三年の輝かしい新春を
迎え、謹んでお慶び申し上げます。
旧年中は、消防業務各般にわ
たり、地域住民の皆様にご理解、
ご協力を賜り、衷心より厚くお
礼申し上げます。
さて、昨年を振り返りますと、
国内外で大きな災害が発生しま
したが、特に国外においては、ハ
イチ地震や中国青海省地震によ
り、甚大な被害が生じ空前の大
惨事になりました。
そして、国内においては、六月
から八月にかけて全国各地で局
所的な集中豪雨の発生により、特
大きな被害が生じましたが、特
に松江市鹿島町や広島県庄原市
では尊い命が犠牲となる災害が起
こり、防災の任の一翼を担う者と
して「安全・安心」に対する意
を強くしたところです。
火災においては、札幌市の高齢
者認知症グループホームでの火災
により多数の方が犠牲となられ
ました。近年、小規模な福祉施
設等の火災により多数の犠牲者
が発生する事案が顕著化してい

ます。また、一般住宅においては、
火災による痛ましい事故を防ぐ
ために、住宅用火災警報機の設
置をお願いしているところだ
設置期限が今年の五月末となつて
おり、一層の促進を図って参りま
す。
一方、救急出場においては増加
傾向にあり、搬送の約六割が急
病となっており、搬送者のうち六
十五歳以上の方が約七割を占めて
います。こうした救急需要の増加
を踏まえ、継続的な救急救命士
の養成や専門知識の習得により救
急業務の充実、強化を推進いた
します。
災害が多様化する中で、
住民の皆様の生命、身体及び財
産を守り、住民サービスの向上
を念頭に、安全・安心の確保の
ため、災害対応能力の充実、強
化はもとより、関係機関や自主
防災組織との連携強化を図り、
総合的な防災力の向上に努めて
参りたいと思います。
住民の皆様の信頼と期待に応え
るため、職員一丸となつて地域防
災にあたる所存ですので、一層の
支援とご指導を賜りますようお願い
申し上げます。
結びに、本年が災害のない明る
い年となりますとともに、皆様の
ご健勝とご多幸を心から祈念
申し上げます。新年のあいさつとい

議会報告

雲南消防組合議会臨時会

平成22年11月26日、平成22年第2回雲南消防組合議会臨時会を開催し、次の議案を提出し原案どおり可決されました。

議決された事項

○消防職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

人事院及び島根県人事委員会勧告に基づき、消防職員の給与条例を改正しました。

雲南消防組合議会定例会

平成22年12月27日、平成22年第2回雲南消防組合議会定例会を開催し、次の議案を提出し原案どおり可決されました。

議決された事項

○平成21年度雲南消防組合一般会計決算認定について

平成21年度一般会計は、歳入総額が1,139,449千円、歳出総額が1,134,300千円となり、歳入から歳出を差し引いた額は平成22年度に繰り越し、構成市町に還付します。

○雲南消防組合火災予防条例の一部を改正する条例について

総務省令の改正を受け、住宅用防災機器の設置免除事項を追加する条例の一部を改正しました。

○公平委員会の事務の委託の廃止について

○常勤の職員に対する退職手当の支給に関する事務の委託の廃止について

○非常勤の職員の公務上の災害又は通勤による災害の認定及び審査に関する事務の委託の廃止について

平成23年4月1日から雲南広域連合に統合されることに伴い、島根県及び島根県市町村総合事務組合との事務の委託について、廃止しました。



こどもたちからの火災予防の呼びかけ

火災予防図画コンクール・ポスターコンクール

秋の火災予防運動の一環として、幼稚園・保育園（所）の園児を対象に火災予防図画コンクールを実施し、管内39の園（所）から482点の応募がありました。

いずれの作品も子供たちの元気あふれるすばらしい作品でした。審査の結果、最優秀賞1点、消防長賞4点、金賞23点、銀賞46点、銅賞102点が選ばれ、各町内のショッピングセンターに展示し火災予防を呼びかけました。



最優秀賞

横田幼稚園
ふじはら ちかさん

火災予防ポスターコンクールを行い、80点の応募がありました。最優秀作品をポスターにして管内各戸、事業所に配布し火災予防の周知を図りました。

平成22年火災予防ポスター



消防長賞



西日登幼稚園
ふくしま だいきさん



阿用幼稚園
いしはら みつきさん



吉田保育所
いわた あかりさん



三刀屋幼稚園
かねさか そらさん

ぺったん！ぺったん！～防火の願いをこめて～



平成22年12月3日、三成保育所で毎年恒例の『防火もちつき会』が開催されました。

子供たちは小さな手でしっかりと杵を握り、力強くもちつきをしていました。ぺったん！ぺったん！に合わせ「よいしょ！よいしょ！」と元気な声が響きわたっていました。

つくたてのおもちは、近隣の事業所や一人暮らしの高齢者宅にオリジナル防火ポスターを添えて配付されました。受け取られた方は、「毎年来てくれるのを楽しみにしています。子供たちに防火を呼び掛けられると、こちらも身が引き締まります。火の用心に心掛けたいです。」と話しておられました。



オリジナルポスター

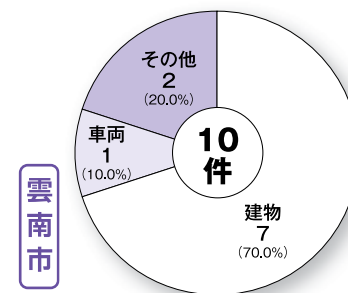
平成22年中の火災・救急・救助統計 出動件数

平成22年1月1日
～12月31日

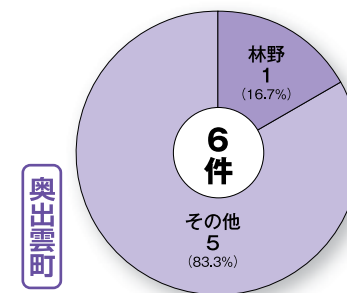
火災出動

19件

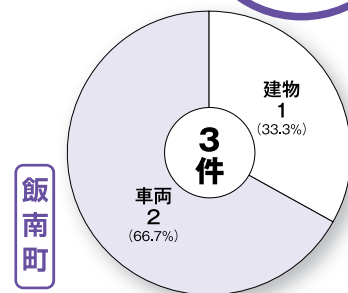
平成21年 30件



雲南市



奥出雲町

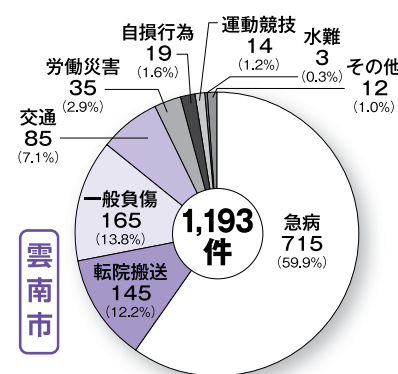


飯南町

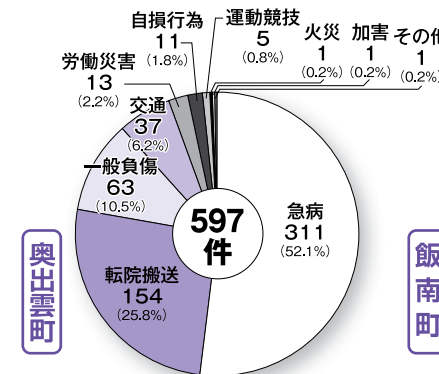
救急出場

2,062件

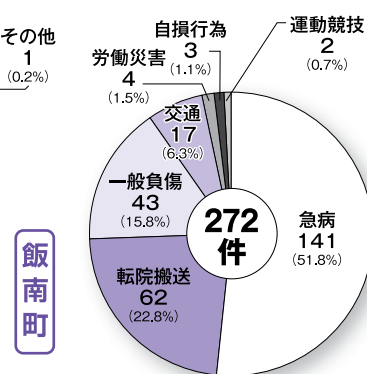
平成21年 1,974件



雲南市



奥出雲町

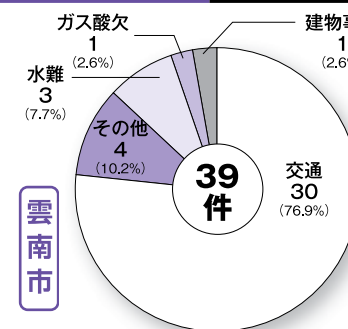


飯南町

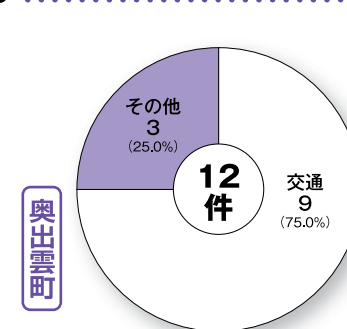
救助出動

56件

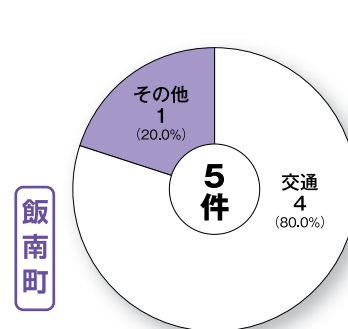
平成21年 42件



雲南市



奥出雲町



飯南町

平成22年中の火災件数は19件で、昨年(30件)と比較すると11件減少となり、過去17年間で最少の件数でした。幸いにも当管内では住宅火災による死者はありませんでしたが、島根県内は14人と昨年の死者数5人を大きく上回りました。火災から皆さんの大切な命や財産を守るために一日でも早く「住宅用火災警報器」を設置しましょう。

また、火災原因のほとんどはちょっとした不注意や油断から発生したものです。日頃から火災予防に関心を持ち、火の取扱いには十分注意しましょう。

救急出場件数、救助出動件数は昨年と比較すると増加しました。

「消したかな」 あなたを守る 合言葉



生活には欠かせない危険物 ～危険な物なのに油断しきってないですか？～

自動車のガソリン・軽油、ストーブやボイラーの灯油、天ぷらをする時のサラダ油・・・すべて危険物です。生活にはなくてはならないものですが、取り扱いを誤ると危険な物になります。

皆さんは、危険な物を油断して取り扱っていませんか。

管内では、石油ストーブを点けている付近で、ガソリンの詰め替えを行ったことから火災が発生しました。

また、セルフ式ガソリンスタンドの増加に伴い、全国的に給油時の火災事故が増加しています。

給油する際には、次の点に十分ご注意ください。

- ・車に給油する油種を十分に確認する。
- ・ライター、たばこ等の火気は使用しない。
※携帯電話の使用も禁止です。
- ・静電気除去装置に触れるなど、静電気火花の発生防止に努める。
- ・計量器に表示されている使用方法、注意事項を遵守する。(写真)
- ・不明な点は計量器付近に設置されているインターホン等を利用し、従業員に尋ねる。



早く取り付けて!! 住宅用火災警報器

雲南消防本部管内の住宅用火災警報器の設置率は最新の調査で、33.3%でした。未だ3軒中2軒のご家庭が設置されていない現状です。

また、この調査では、本年5月31日の設置期限までに猶予があると思われる家庭が多いこと、住宅用火災警報器を購入はしているがまだ取り付けしていない家庭が多いことがわかりました。

住宅用火災警報器はドライバー1本で簡単に取り付けられます。火災時の逃げ遅れを防止するために、一日でも早く住宅用火災警報器を設置しましょう。

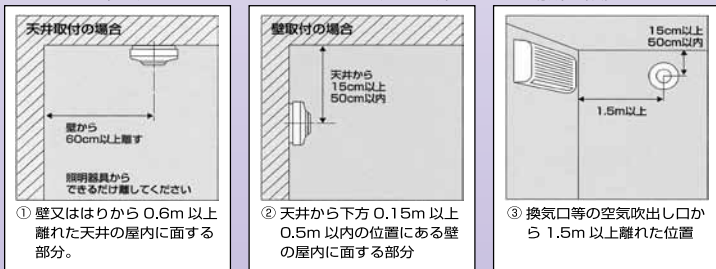
早く取り付けてね!!



取り付け方法は?

! 下記の位置に取り付けましょう

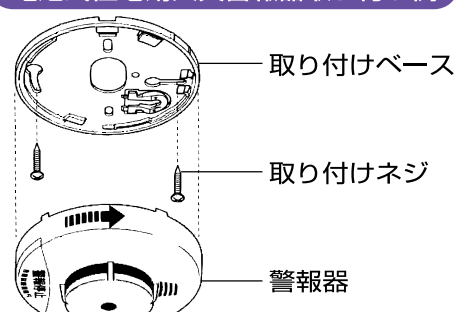
できるだけ早く煙をキャッチできるように、煙を感知しやすい場所に設置しましょう。



- 壁の上部や天井に取り付けます。
- また、計測位置は住宅用火災警報器感知部から壁（あるいは天井）までの距離を指します。
- 詳しい取り付け方法は、取扱説明書をご参照ください。

- 家族が寝室に使う部屋全てに煙を感知する住宅用火災警報器を設置してください。
 - 2階に寝室がある場合は、階段室にも必要です。
- ※雲南消防本部では、設置率把握のためアンケート調査等を行っています。ご協力をお願いいたします。

電池式住宅用火災警報器取り付け例



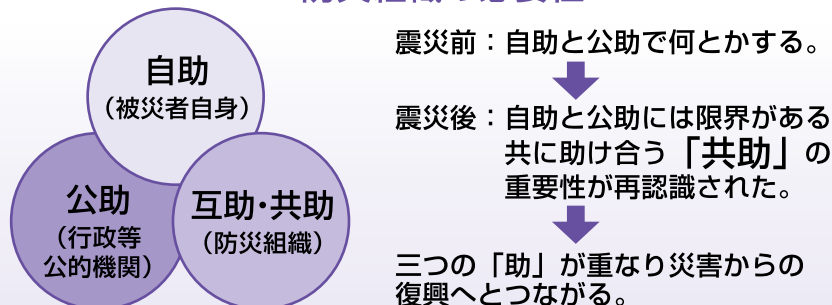
ネジ2本で簡単に取り付けられます。

木次町三新塔地区防災訓練開催 ～災害に強い地域づくり～

平成22年10月31日、木次町三新塔地区で防災訓練が開催されました。およそ360人の皆さんが参加され、避難勧告発令時を想定した避難訓練、炊き出しの実演、消防署訓練見学、消火訓練等を行われました。

阪神・淡路大震災後、互助・共助の重要性が再認識され、現在では各地でこのような訓練が開催されるようになってきました。「自分たちの地域は自分たちで守る。」を合言葉に、住民の皆様も機会があれば防災訓練への積極的な参加をお願いします。

防災組織の必要性



防火クラブ紹介



女良木自治会防火クラブ
(奥出雲町)
会長 小早川 正幸

女良木自治会防火クラブは、奥出雲町馬木地区の女良木自治会全世帯で、平成16年に結成しました。

防火クラブの目指すところは、防火・防災とその思想の普及・高揚ですが、この目的達成のためには、「未然＝未然防止を図ること」と「已然＝万一に備えること」の両方の取り組みが不可欠と考えています。

結成以来、防火・防災講習会や座談会の随時開催、住宅用火災警報器の普及、初期消火訓練、救急法講習会等を実施しました。中でも救急法講習会については年毎にテーマを設け、消防署等の指導を受けています。「家庭でできる応急処置」「夏の事故の応急処置」「心肺蘇生法」「AED講習会」等々。『万一の時に役立ってこそ救急法』を合言葉に連年実施しています。

また、救急法や訓練をより効果あらしめるためには、内容もさることながら、参加者が大多数であることも欠かせません。当クラブでは、自治会等の定例会や行事と、常に有機的にリンクさせ、毎回ほぼ全員参加の下に事業を行っています。

この度の雲南防火委員会会長表彰を機に、より安心・安全な女良木自治会づくりのため、今後も着実に活動を続けてまいりたいと思います。



ゆきの里 雲南 イベント情報

4月29日(金)祝日 奥出雲町

カタクリ登山

船通山

おろち退治の舞台船通山。その山頂付近に咲く薄紫色のカタクリの花を見に登るイベント。

問 奥出雲観光協会
TEL 0854-54-2260



4月下旬

奥出雲町

鬼の舌震川開き

鬼の舌震

鬼の舌震玉姫神社にて、恒例の川開きを行います。(神事ほか)

問 奥出雲観光協会
TEL 0854-54-2260



4

April・卯月

日	月	火	水	木	金	土
						1
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

4月10日(日) 雲南市三刀屋町

がん封じ笹酒まつり

成覚寺(三刀屋町中野)

竹筒のまま護摩壇の炎で温められた笹酒をいただき、がん封じを祈ります。

問 成覚寺
TEL 0854-45-4800



4月15日(金) 雲南市三刀屋町

峯寺護摩供養

峯寺(三刀屋町給下)

燃え盛る炎の中に護摩木を投げ入れ、無病息災・家内安全を願う伝統行事です。

問 峯寺
TEL 0854-45-2245



3月25日(金) 雲南市三刀屋町

三刀屋天満宮 春の例祭

三刀屋天満宮(三刀屋町三刀屋)
学業の神様菅原道真公を祀る三刀屋天満宮の春祭りです。

問 三刀屋 天満宮社務所
TEL 0854-45-2899



3月下旬~4月下旬 雲南市木次町・三刀屋町

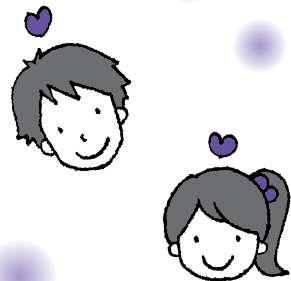
雲南市さくら祭り

斐伊川堤防桜並木ほか

ぼんぼりの点灯、桜のライトアップあり。4月2日には打ち上げ花火等イベントを開催予定。

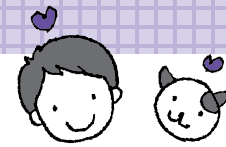
メインイベント: 4月2日(土)、3日(日)

問 雲南市商工観光課
TEL 0854-40-1054



2011

[EVENT INFORMATION 2011]



● 時間 ● 入場料・参加料 ● お問い合わせ

3月中旬 雲南市大東町

春紅桜(河津桜)の桜祭り

春殖農村公園

(春殖交流センター敷地内)

春紅桜(河津桜)の開花時期に合わせて「桜を育てる会」による飲食物のテント村や各種イベントが開催されます。

問 春殖地区振興協議会
(春殖交流センター内)
TEL 0854-43-2709



3月13日(日) 雲南市加茂町

第6回雲南神楽フェスティバル

加茂文化ホールラメール

市内で活動している多数の神楽団体が共演し、「神楽の里」雲南市を市内外に広く発信します。

時 10時~17時
入 高校生以上
前売り1,000円 当日1,500円
小中学生
前売り500円 当日700円

問 雲南市商工観光課
TEL 0854-40-1054



2月6日(日) 雲南市三刀屋町

堂餅さん

寿福寺(三刀屋町多久和)

本年は、古式に沿った「堂餅落とし」で、観音堂につり上げた餅を、若者が刀で落とし、福を呼び寄せます。

問 寿福寺
TEL 0854-45-2975



2月11日(金)祝日 飯南町

飯南雪まつり

琴引フォレストパークスキー場

様々なそりで滑走する、超そり大会を中心に企画盛り沢山。地元特産品も味わえます。

時 9時~15時
入 無料
問 雪まつり企画検討委員会
(飯南町企画財政課内)
TEL 0854-76-2864



3月上旬 奥出雲町

カキ祭り

横田だんだん市場
(国道314号沿い)

グリーンツーリズムの一環として、広島市江波と交流イベントを開催します。毎年カキの試食販売は盛況です。

時 10時~カキ売切れ次第終了
問 奥出雲観光協会
TEL 0854-54-2260



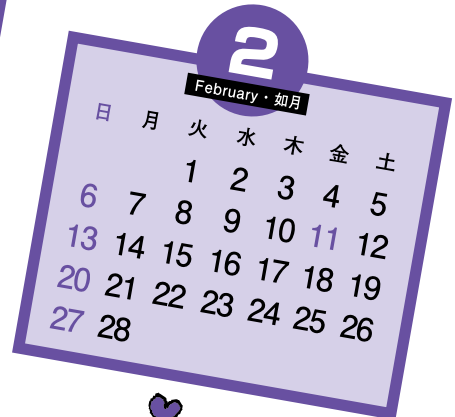
1月30日(日) 雲南市掛合町

カキまつり

道の駅「掛合の里」

呉市音戸町直送の新鮮なカキを販売。その他地元団体の出店もあります。

問 掛合町ふるさとまつり実行委員会
事務局(掛合総合センター内)
TEL 0854-62-0300





雲南市大東町畑鶴

雲南市畑鶴森林公園からの雪景色

発行

雲南広域連合	〒690-2403	島根県雲南市三刀屋町下熊谷1773-1	TEL0854-45-5880	FAX0854-45-5887	http://www.unnan.jp
公立雲南総合病院	〒699-1221	島根県雲南市大東町飯田96-1	TEL0854-43-2390	FAX0854-43-2398	http://unnan-hp.jp
雲南消防本部	〒699-1311	島根県雲南市木次町里方1100-6	TEL0854-40-0119	FAX0854-42-1911	http://user.kkm.ne.jp/unnan-fd